

芦北町議会だより



# うたせ

第44号

平成28年  
2月2日発行



記録的な大雪（1月25日 古石地区）

- 12月定例議会 ..... P 2～4
- 補正予算の主な事業 ..... P 3
- 議案の審議結果 ..... P 4
- 一般質問 ..... P 5～6
- 議会研修報告 ..... P 7
- 議会のうごき・編集後記 ..... P 8



国道3号も大渋滞（湯浦）

# 12月定例議会



12月定例議会は、12月15日に召集され、18日までの4日間の会期で開催した。

上程された議案は、平成27年度一般会計補正予算ほか、特別会計補正予算2件、条例の制定及び一部改正5件、町道の路線廃止及び認定2件、工事請負契約の変更1件で、いずれも審議の結果、原案のとおり全会一致で可決した。

また、JAあしきたから提出されていたファーマーズマーケット「でこぼん」を道の駅に登録申請することについての陳情は、建設経済常任委員会で審査していたが、申請要件を十分具備していると認められ採択された。

最終日には、2議員が町政全般にわたり一般質問を行った。  
(議案の内容と結果は、4ページに掲載)



道の駅登録を待つファーマーズマーケット「でこぼん」

# 補正予算を可決

## 一般会計、特別会計を併せて

# 9,206万円を追加

(金額は1万円未満を四捨五入)

会計名	補正額(増額)	補正後の総額
一般会計	2,425万円	100億9,102万円
介護保険事業特別会計	6,761万円	22億2,908万円
後期高齢者医療事業特別会計	20万円	2億6,090万円
今回補正が行われなかった会計 (公営企業会計を除く)	—	42億4,177万円
合計	9,206万円	168億2,277万円

### ◆補正予算の主な事業

一般会計	
熊本県知事選挙費	1,304万円
国庫負担金精算償還金	896万円
介護保険事業特別会計繰出金	899万円
台風被害園芸・果樹復旧対策事業	926万円
水産物供給基盤機能保全事業	207万円
交付金事業道路改良工事	△7,591万円
河川改良事業	361万円
農業用施設災害復旧事業	1,039万円
林業用施設災害復旧事業	3,766万円
公共施設災害復旧事業	204万円
公共土木施設災害復旧事業	1,510万円
介護保険事業特別会計	
居宅介護サービス給付費ほか	
後期高齢者医療事業特別会計	
疾病予防事業	

### 台風15号災害復旧工事箇所



溝口線 (横居木)



田浦横居木線

## 平成27年 第4回芦北町議会定例会

区 分	内 容	審議結果
陳情第1号	ファーマーズマーケット「でこぼん」を道の駅に登録申請することについて	採 択

区 分	議 案	内 容	審議結果
議案第62号	平成27年度芦北町一般会計補正予算（第6号）（概要等はP3に掲載）		原案可決
議案第63号	平成27年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）（概要等はP3に掲載）		原案可決
議案第64号	平成27年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）（概要等はP3に掲載）		原案可決
議案第65号	芦北町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第2項の規定に基づき、個人番号の利用及び特定個人情報の提供を行うためには条例を制定する必要があるため。	原案可決
議案第66号	地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例の制定について	地方自治法第96条第2項の規定に基づき、議決事件を追加するためには、条例を制定する必要があるため。	原案可決
議案第67号	芦北町税条例等の一部を改正する条例の制定について	納期の変更を行うため条例を改正する必要があるため。 また、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、条例を改正する必要があるため。	原案可決
議案第68号	芦北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、条例を改正する必要があるため。	原案可決
議案第69号	町道の路線廃止について	町道の路線廃止については、道路法第10条第3項の規定により、議会の議決を経る必要があるため。	原案可決
議案第70号	町道の路線認定について	町道の路線認定については、道路法第8条第2項の規定により、議会の議決を経る必要があるため。	原案可決
議案第71号	工事請負契約の変更について	工事内容の変更に伴い、契約金額を変更する必要があるため。	原案可決

# 一般質問 (要約)



坂本議員

## 安定した雇用の創出の予想は

**質** 芦北町総合計画（第二次）の前期基本計画の中に農林水産業、商工観光業の振興とある。

**答** 企画財政課長  
また、芦北町総合戦略の基  
本目標の一つとして「安定し  
た雇用を創出する。」を設定  
すると聞いている。これによ  
りどれくらいの新たな雇用創  
出を予想しているか。

**答** 企画財政課長  
総合戦略の数値目標とし  
て、町の総人口に対する20歳  
から39歳の割合を15・1%か  
ら15・5%に高める目標を掲  
げている。  
このことから試算すると、  
60人から70人程度の働き手が  
確保されると予測している。

### 住民と行政の協働による取組は

**質** 芦北町総合計画（第二  
次）に「住民と行政が共に連  
携し補完し合い、課題解決に  
向けて協働して取り組むこと  
が求められる。」とある。

**答** 企画財政課長  
総合計画を基に地方版総合  
戦略でも取り組むと思うが、  
実行するにあたって、どのよ  
うに住民と協働する考えか。

**答** 企画財政課長  
総合戦略に掲げた施策推進  
には、住民との協働・連携は  
不可欠だと考えている。

**答** 企画財政課長  
協働の形態としては、ワー  
クショップであるとか、アン  
ケートや広報、広聴活動、説  
明会というようないろいろな  
形態があり、その事業ごとに  
最も適切な方法を見つけてそ  
れぞれの担当課が行うという  
認識である。

### 結婚支援事業の状況は

**質** 町は平成22年度から結婚  
支援事業に取り組んでおり、  
今後4年4回の実施が計画さ  
れている。

**答** 企画財政課長  
本事業はこれまで何回開催  
されたか。参加者は男女別に  
何人か。実際に結婚したのは  
何組か。そのうち町に居住し  
続けているのは何組か。

**答** 企画財政課長  
平成22年度からこれまでに  
19回開催している。参加者  
は、男性が延べ195人、女  
性が延べ191人となってい  
る。そのうち結婚まで至った  
のは3組あり、1組は町内に  
居住をしている。

### 球磨川流域に関する瀬戸石調整池堆砂処理計画及び道路改良は

**質** 平成27年10月2日に国土  
交通省九州地方整備局は、電  
源開発株式会社運営する瀬  
戸石ダム定期検査で、ダム  
湖に土砂が過剰に堆積してい  
るとして、安全管理の3段階  
判定で最も厳しいA判定にし  
たことを明らかにした。

**質** 町として簸瀬地区の住民の  
意見を把握した上で、電源開  
発株式会社簸瀬地区に来て  
直接説明し、住民の声を聞く  
直接懇談会を実現してほしい  
か。

**答** 町長  
町としては行政区からの要  
望があれば、当然、要請して  
いくスタンスである。

**質** 平成26年6月の定例会の  
一般質問において、簸瀬地区  
の大雨洪水時の避難経路確保  
問題では、県道球磨田浦線の  
白石から和田口間の嵩上げに  
ついての町長答弁で、県は最  
近になり検討していくと回答  
を聞いたという旨の答弁だっ  
たが、その後、新たな情報は

聞いていないか。

**答** 企画財政課長  
県は県道の冠水対策とし  
て、昨年9月1日から12月20  
日にかけて、白石駅付近から  
下流600mと和田口バス停  
付近から上流側1,000m  
について測量調査を実施して  
いる。

**答** 企画財政課長  
これを基に、J R、国土交  
通省と協議に入っているが、  
協議を経る中で変更が生じた  
部分について、今年度、再度  
測量と地質調査を行うとの説  
明を受けているところである。



球磨川に堆積した土砂を運び出す様子

# 一般質問 (要約)

## 介護保険事業の現状と課題は



川尻議員

**質** 平成12年度からスタートした介護保険制度は、本年度で早15年目を迎えた。本町の高齢化率は、39・3%（平成27年11月1日現在）であり、介護認定者数も増加傾向にある。

**答** 第6期芦北町老人保健福祉計画・介護保険事業計画書が策定され、各事業が展開されている。

平成27年度から訪問介護や通所介護（デイサービス）を町が実施する新しい総合事業に移行されているが、具体的な事業内容と対応はどのようなのか。

### 答 住民生活課長

新しい介護予防、日常生活支援総合事業については、6月の定例会で説明しているとおおり、27年度から取り組んでいる要支援1、要支援2の訪問介護及び通所介護の利用が総合事業に移った。

事業対象者については、通所型のサービス、配食サービスを実施しており、同時に対象者の介護予防ケアマネージメント（プラン作成）を行っている。

一般介護予防事業としては、現在、社会福祉協議会が

各地区の公民館で「たっしやか会」を実施している。また、新たなサービスとして、訪問型サービス及び通所型サービスの提供が出来ないものかなど検討している。



通所サービスの様子（きずなの里）

**質** 介護認定審査に関する業務は、水俣芦北広域行政事務組合で行っているが、要介護者が認知症を伴う場合、介護に手がかかるわりに判定結果の介護度が低くなるなど、認定制度に対する不満の声を聞くが、町にそのような声は届いていないのか。

### 答 住民生活課長

認定制度についての不満は、現在のところ聞いていない。

### マイナンバー制度への対応は

**質** 平成28年1月からマイナンバー制度による個人番号の利用と個人番号カードの交付が始まるが、介護施設において個人番号及び個人番号カードの管理などについて不安の声があると聞いている。

12月2日付けの熊本日日新聞に「厚生労働省は、近く、自治体や介護事業者に対し、マイナンバーの取扱いに関する通知を出す予定だ。」と掲載されていたが、その通知は届いているのか。

なお、その通知が届いていれば、主な内容はどのようなものか。

### 答 総務課長

現時点では届いていない。

### 担当課の統合などは

**質** 高齢者が福祉関係のサービスを希望する場合、介護保

険関係は住民生活課、老人福祉関係は福祉課で手続きが必要となる。そのような場合、どちらへ相談すべきか分かりにくいといった声を聞いている。

住民サービスをさらに充実するため、窓口の統合などによる機構改革を行う考えはないか。

### 答 総務課長

各担当窓口では、分かりやすい案内標示を設置するなど、窓口環境の充実を図っており、現在、質問のような声は聞いていない。

今後も来庁者に分かりやすい窓口の環境整備に努めてまいります。

### 答 町長

担当窓口を間違っ来られた時は、あっちに行ってくださいとは言わず、担当課から職員がその場に来て対応を行っている。

また、複数の手続きが必要な場合は、その場で全ての手続きができるようにしているとの報告を受けている。

# 議員視察研修報告

【栗山町・当別町】

議会活性化について学ぶ

議会改革の先進地は、地方分権一括法施行当時より二元代表制の一翼としての議会の重要性を確立するために、基本条例を制定し、それを実現に向けて活性化に取り組みられています。その内容は、

- ① 議員自らが重要性を認識し、活性化を促す自由討議や政務活動費の導入
  - ② 議会人の良識、人間性を高める政治倫理条例の制定
  - ③ 議会全般を活性化させる町長及び執行部への反問権の付与
  - ④ 町民に向け、議会への関心、町づくりの意識を高める一般会議や報告会の開催
- など両町とも活発な活動内容です。本町でも

- ① 議員自らの知識・良識を高める
- ② 議会全般の活性化を目指す
- ③ 町民の議会に対する関心や政治参加の意識を高める

この大きな三項目を掲げ、議会改革特別委員会で意見を出し合い、条例制定などに取り組んで行かなければならないと思い、大変参考になった研修でした。

(宮尾)



当別町



栗山町

期日…平成27年10月19日～21日  
場所…北海道栗山町、当別町、夕張市

参加者

寺本修一、水口宣之、藤井公明、川尻成美、平松洋一  
宮尾秀行、前田徹一、白坂康浩、古村逸男、寺本順一  
宮内道則、坂本登、荒川知章

【夕張市・夕張市農業協同組合】

道の駅「夕張メロード」登録申請等について学ぶ

J Aあしきたから提出されている「ファーマーズマーケット」で「こぼん」を道の駅として登録申請することの取り扱い等について、J A夕張から多くを学ぶことが出来ました。

「夕張メロード」と「でこぼん」は、共に高速道路の供用延長に伴う交通量の減少と客の流れの変化への危機感が開設への動きであります。どちらもJ A所有であるが、道の駅の登録申請は基本的には、国土交通省に対して自治体が行うものとのことです。

「夕張メロード」の建物は、自己資金で建設しており、「でこぼん」は農林水産省の補助事業で建設されていることから、二つの施設の立ち上げ内容の違いはありますが、「でこぼん」も今回の研修により、道の駅登録申請が可能であることが分かりました。

(白坂)



夕張市道の駅「夕張メロード」

# 議会のうごき

- 10月 1日 熊本県町村議会議長会理事研修会（玉東町）（～2日）
- 13日 水俣芦北広域行政事務組合議会
- 16日 議会広報特別委員会
- 19日 議員研修（北海道栗山町、当別町、夕張市）（～21日）
- 23日 南九州西回り自動車道早期実現要望活動（福岡市）
- 27日 熊本県町村議会議長会議員研修会（益城町）
- 11月 9日 水俣・芦北地域振興推進委員会後期要望活動（東京）（～10日）
- 10日 佐賀県基山町議会厚生産業常任委員会視察研修来町
- 11日 第59回町村議会議長全国大会（東京）
- 16日 南九州西回り自動車道建設促進大会（東京）
- 18日 総務常任委員会
- 20日 熊本県町村議会広報研修会
- 22日 熊本県町村議会議長会研修（台湾）（～24日）
- 26日 長崎県東彼杵町議会視察研修来町
- 12月 1日 文教厚生常任委員会
- 議会改革特別委員会
- 9日 議会運営委員会
- 議会全員協議会
- 建設経済常任委員会
- 15日 12月定例議会（議案審議）
- 18日 12月定例議会（一般質問）
- 議会広報特別委員会
- 25日 芦北町国際交流事業カンボジア派遣事業（議長）（～30日）
- 1月 20日 町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会（熊本市）
- 26日 熊本県町村議会議長会理事会

※次回の議会は、3月上旬の予定です。

き やま ちょう

## 基山町議会が視察来町



11月10日に佐賀県基山町議会の厚生産業常任委員会が視察研修のため訪問され、議会から水口副議長、町から山元総務課長をはじめ各担当職員が対応しました。今回の視察は、環境保護・特産品開発・国際交流などについての研修で、各事業に対する質疑が活発に行われました。

ひがしそのぎ ちょう

## 東彼杵町議会が視察来町



11月26日に長崎県東彼杵町議会が視察研修のため訪問され、議会から寺本議長が、町から竹崎町長及び商工観光課職員が対応しました。今回の視察は、白木小学校跡を利用した企業誘致に関する研修でしたが、町政全般に渡る町長の説明にも強く関心を示され、熱心に質疑が行われました。

### 議会広報特別委員会

委員長	宮内道則
副委員長	平松洋一
委員	宮尾秀行
前田徹一	
白坂	
荒川	
知章	
康浩	

本年一月から始まったマイナンバー制度の利用範囲は、社会保障及び災害対策の三分野で活用されることになってきたが、昨年九月法改正により金融機関の預貯金口座や医療情報も紐付けられた。預金口座については、その合計額を国が把握することになり、税務当局による所得・資産把握の強化などが進む。この制度は、情報漏えいのリスクもある中で、今後国は年金、戸籍、パスポート及び身分証明など、更なる利用拡大を検討しているが、適正に管理運用されることを望む。今年も、皆様にとって佳き年となるようお願いしたい。

（平松）

### 編集後記

